

第 1 回 周南市まちづくり総合計画審議会 会 議 録

日 時：令和 6 年 3 月 2 5 日（月） 1 0 時 0 0 分 から

場 所：周南市役所 2 階 交流室 1

【会 議 次 第】

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 市長あいさつ
4. 委員の自己紹介
5. 会長及び副会長の選出
6. 議事
 - (1) 総合計画及び周南市まちづくり総合計画審議会について
 - (2) 第2次周南市まちづくり総合計画の評価検証について
7. 閉会

○配付資料

- 資料1 周南市まちづくり総合計画審議会委員名簿
- 資料2 周南市総合計画策定条例
- 資料3 周南市まちづくり総合計画審議会規則
- 資料4 総合計画とまちづくり総合計画審議会について
- 資料5 第2次周南市まちづくり総合計画の評価検証について

○参考資料

- 第2次周南市まちづくり総合計画（計画書）

第1回 周南市まちづくり総合計画審議会 会議録

日 時 令和6年3月25日（月） 10時00分から

場 所 周南市役所 2階 交流室1

出席者 ・委員 31名

原田 浩樹、藤井 崇史、齊藤 明雄、大野 貞基、大山 政男、藤田 辰夫、
西村 明、山根 志津枝、山本 敏文、内山 浩昭、掛川 潔、磯村 泰將、
山田 みゆき、原田 直哉、田中 貴光、江波 昭政、片山 恵子、熊野 明
河谷 幸生、藤村 和義、澤田 かおり、井上 鳳斗、岸田 帆乃佳、
神田 菜々美、縄田 莉可子、原 天音、藤井 武、吉本 龍太郎、河野 拓也
榊原 弘之、赤木 真由

・周南市長 藤井 律子

・事務局5名

企画部長 川口 洋司、企画部次長 行富 広康、

企画担当係長 中村 成孝、主任 藤原 隆宏、副主任 栢 理沙子

資 料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

◇事務局 定刻となりましたので、ただ今より、第1回周南市まちづくり総合計画審議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。私は、本日の進行を務めさせていただきます、企画課の藤原と申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 委嘱状の交付

◇事務局 これより、周南市まちづくり総合計画審議会委員の委嘱を行います。お一人ずつ名前をお呼びしますので、その場でご起立をお願いします。市長が委嘱状をお渡しします。

～市長より委員へ委嘱状を交付～

3 市長あいさつ

◇事務局 続きまして、周南市長藤井律子があいさつを申し上げます。

■市長 改めまして、皆さま、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。平素から、本市のまちづくりや市政運営に様々な形でご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、この度は、市の最上位計画であり、まちづ

くりの羅針盤となる、総合計画の審議会委員にご就任いただき、誠にありがとうございます。

私は、子や孫といった未来世代の幸福を慮り、先人が築いてきた、素晴らしいこの「まち」と「風土」を、次の世代に繋げていくことが、今を生きる私たちの大きな使命であると思います。こうした考えのもと、本市は、「2050年を乗り越えられる周南市になる」としたまちづくりのパーパスを掲げており、これは26年先を見据え、周南市の確かな未来への道筋をつけ、長期的な視点によりまちづくりを進めていくことを、基本姿勢とするものです。

まちづくりは行政のみでできるものではありません。ましてや、一朝一夕でできるものでもありません。市民、企業、市役所、この三者が、私は信頼のトライアングルと言っているんですけども、この信頼のトライアングルを作って、手を取り合って、このまちの未来を見据えて、より強固なものになるように、一緒に取り組んでいく必要があるかと思えます。

委員の皆さまにおかれましては、これから約半年間にわたり、ご審議をいただくこととなりますけれども、10年先の未来像を頭に描きながら、そのためには何をしなければならないか、日頃感じておられること、いろいろなことがあろうかと思えます、どうぞ忌憚のないご意見を聞かせていただいで、素晴らしい計画をつくっていきたいと思います。周南市の最上位計画である、総合計画の策定に向け、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます

4 委員の自己紹介

◇事務局 続きます、委員の自己紹介に移りたいと存じます。原田浩樹委員より順番にお願いいたします。恐れ入りますが、お一人ずつお名前と、まちづくりに関しまして一言いただければと存じます。よろしくお願いいたします。

～委員自己紹介～

◇事務局 皆さまありがとうございました。なお、周南市まちづくり総合計画審議会規則第6条第2項において「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」と規定されております。本日は、33名の委員さんのうち、31名ご出席されておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。また、本日は、周南市老人クラブ連合会の岸村敬士様、山口県高等学校長協会徳山支部の伊藤定好様のご都合によりご欠席されています。

5 会長及び副会長の選出

◇事務局 それでは、次に会長及び副会長の選出に入りたいと存じます。周南市まちづくり総合計画審議会規則第5条で「審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める」とされておりますので、皆さんの互選により会長、副会長を選出いたしたいと存じます。どなたかご意見はございますでしょうか。

- 委員 役割が知りたいんですけども。
- ◇事務局 役割につきましては、後ほど総合計画の総合計画とはといったところと審議会とはといったところでご説明させていただこうと思うんですけども、基本的にまちづくり総合計画というのが本市の最上位の計画でございまして、そういったものを様々な市民参画をする中で、皆さまと計画をつくり上げていく中で、市の方から計画案の諮問という形で計画の審議をいただいて、その後審議会から答申いただく、そういった役割でございます。
- 委員 すみません、会長と副会長の役割を教えてください。
- ◇事務局 会長は、この場を取りまとめていただいて、副会長はそれを補佐いただくといった役割になります。
- 委員 分かりました、ありがとうございます。
- 委員 会長を、周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議で会長を務めていただいている、山口大学の榊原先生に、副会長を周南公立大学の赤木先生にお願いしたいと思いますが、皆さんどうでしょうか。
- 委員 (委員承認)
- ◇事務局 ありがとうございます。皆さまの拍手をもってご承認いただきましたので、会長に榊原委員、副会長に赤木委員が選出されました。会長、副会長におかれましては、前の席にご移動をお願いいたします。
(会長・副会長 移動)
- ◇事務局 ここで、会長、副会長より一言ずつごあいさつをお願いします。
- 会長 改めまして、会長に選出されました、山口大学の榊原と申します。先程市長からも今後10年の方向性を決める、最上位計画のお話がありましたけれども、委員のご紹介の中で、それぞれのお立場から、色々と気になっていること、あるいはどういったところに関心があるかお話しいただいたと思います。最上位の計画なので、まちづくりの様々な課題を見渡しながら、一方で全体としてのまちの方向性といったところも同時に考えていかなければいけないと思います。この計画のもとに、おそらく個別分野の計画との整合性というのも考えながら、つくっていかれると思うので、そういった意味でも大変重要な観点かと思えます。
そういった中で、本日お参加いただいておりますのは、各分野で代表される方々かと思えます。それから公募という形で、学校からの若い方、それからまちづくりに携わっている方、本当に様々なご意見をいただけるのではないかと考えております。会長という立場なので、まとめていくという立場ではあるんですけども、是非皆さまからの積極的なご意見をいただければと思っております。よろしく申し上げます。
- 副会長 改めまして、副会長に選出いただきました周南公立大学の赤木と申します。

よろしく願いいたします。ちょうど先週、庁内大学という2050年を見据えて、2050年を乗り越えられるリーダーを育成するという研修で、伴走させていただきまして、市役所の少数精鋭12名の次世代リーダーの育成に携わりまして、12名の方々がですね、非常にやる気に満ちていて、自分の可能性を信じながら、まちの可能性も信じて、新しいアイデアをどんどん出していくっていうのを1年間目の当たりにはしてまいりまして、私もすごく感銘を受けました。

今回また別の立場になるんですけれども、こうやって周南市の未来を描いていくという立場になれて非常に光栄に思いますし、微力ですが頑張っていきたいと思います。私の個人的な経歴で言いますと、大学の教員になったのは2022年が初めてで、それまではですね、ちょっと珍しくて、自分で会社を営んだりとか、民間企業で働いたりとか、そういった経験を16年ほどしてから周南市の方に来てまいりました。まちづくりということで周南市に特化するわけではありますが、これまでの色々な視点を生かしながら、もちろん委員の皆さんの多様な視点も生かしながらですね、母親としての視点というのも生かしながら、まちづくりに携わっていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

◇事務局 ありがとうございます。恐れ入りますが、市長は次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

■市長 皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

◇事務局 それでは、これから「議事」に入ります。これ以降の進行につきましては、審議会規則第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長、どうぞよろしくお祈いします。

6(1) 総合計画及び周南市まちづくり総合計画審議会について

○会長 それでは、規定により、議長を務めさせていただきます。議事進行につきまして、委員の皆さんのご協力をよろしくお祈いします。それでは、次第6(1)の「総合計画及び周南市まちづくり総合計画審議会について」、事務局からご説明をいただいて、それについてご質問等ございましたらいただきたいと思ひます。

◇事務局 事務局の企画部企画課の行富と申します。どうぞよろしくお祈いします。それではお手元の資料4についてご説明をさせていただきます。

(資料4に基づいて説明)

○会長 ありがとうございます。総合計画の位置付け、それから、総合計画審議会の役割、今後のスケジュールについて説明がございました。こちらにつきまして、何か委員さんの方からご意見、ご質問がございましたら、お祈いします。

●委員 (特になし)

○会長　　いかかでしょうか。それでは、私から、皆さんある程度総合計画の中でご関心の分野があると思うんですけれども、具体的な話が出てくるのは、部会のタイミングということでしょうか。

◇事務局　　会長おっしゃっていただきましたように、具体的なところは分野別の計画で、市が考えている原案というものを示いたしますので、それぞれの専門とされている分野で、色んなご意見がいただければと考えております。また、10年に一回といったところで申し上げたところなんですけど、まちづくりの10年先を見据えたまちづくりの理念であったり、まちの将来像といったところも、私どもの方から原案という形でお示したいと考えておりますので、その際にも、それぞれのお立場であり、これまでのご経験を踏まえて、ご意見をいただきたいと思っております。

○会長　　ありがとうございます。その他で意見はございませんか。ないようでしたら次に移らせていただきます。

6 (2) 第2次周南市まちづくり総合計画の評価検証について

○会長　　それでは、引き続き次第6 (2) の「第2次周南市まちづくり総合計画の評価検証について」、事務局から、説明をお願いいたします。

◇事務局　　(資料5に基づいて説明)

○会長　　ご説明ありがとうございます。ただいま総合計画の検証についてご説明いただいたところですが、こちらについては読み方をご説明いただいて、今後の各部会の審議に備えてご一読いただきたいといったところで、例えば、それぞれご関心がある分野を中心にご覧いただければと思っております。こちらについて、何かご質問等がございましたら、お願いいたします。ございませんでしょうか。

●委員　　9つの分野で、3つの部会といった形なんですけど、結構なボリュームがあって、予習しないといけないのかなとお見受けいたしました。5月の諮問、要は市からの案を見てから、皆さん考えられると思うのですが、自分の部会が決まるのはいつぐらいなのかというところと、周南公立大学の学生や徳山高専の学生が参加している状況になりますので、学生にとっては、やはりテストとか授業が本分になりますので、部会は2、3回ほど審議を行うということになってるんですけど、本分を怠らず、開催の時間であったりとか、そういったところでご容赦いただけるのか、というのもご質問になります。

○会長　　はい、ありがとうございます。スケジュールについて、部会の配置はいつ頃になるのかというところと、あと学生さんもいらっしゃるんですけど、そのあたり事務局からお答えいただけますか。

◇事務局　　どの部会でご担当いただくかといったところは、次回の5月のタイミングでお示したい考えでございます。それと、開催のタイミングですけれども、委

員さんのタイミングが悪い時とか、ご都合の悪い時とかお伺いしながらですね、できる限り配慮をさせていただきながら、日程の方は調整をさせていただきたいというふうに考えております。

○会長 はい、ありがとうございます。大体試験期間が7月末から8月始めくらいですか、あと学生さん、結構今学生さん急がしいので、せっかくご参加いただいているので、そういったスケジュール設定をしてもらえればいいのかと思います。その他には何かございませんか、どうぞ。

●委員 失礼します。3つございまして、1つ目は今回このいただいている資料は非公開のものなのかどうかを確認したいです。例えば、評価検証、こちらはネットで検索しても出なかったの、ここだけの取扱いなのか確認したいです。

その上で、様々な数値が載っているんですけども、数値の一覧みたいなものが、今までの数値の推移が分かればいいのかと思っています。

あと3つ目が、目標値といったものがございましてけれども、目標値の重み、重みと言ったら語弊がありますけれども、野心的な目標なのか、現実的に求めた数値なのかということが、感覚としてお伺いできれば幸いです。

○会長 はい、事務局いかがでしょうか。

◇事務局 まず1つ目の質問で公表か、非公表かといったところでございます。今時点では、委員の皆さまにお配りしている内容ではございます。今後は、こういった審議会でこういった資料を使いましたということで、ホームページに掲載します。ただ、SNSに載せられるといったところは、控えていただきたいと考えております。

2点目の数値のまとめがあったらといったところでございます。ご意見いただきましたので、まとめの表を作って、皆さまにお配りしたいと考えております。

最後の目標の重みのところですが、比較的どちらかという現実的なところを目指した目標値としております。気持ちとしては、もうちょっと高い目標を設定したいところですが、着実に計画を進めていくとした視点が大事かと考えておりますので、現実的なところでの目標設定をさせていただいております。

○会長 はい、ありがとうございます。目標値の話がありましたが、後期基本計画の計画期間は結果的にコロナの期間だったので、結構目標達成が苦しかったというか、ようやく戻ってきたという中で、策定が2020年の3月で、コロナ直前ですので、そのあたりはご覧になる中で、なぜこんな目標を掲げているのだろうと思われるかもしれないですけども、そのあたりは考えないといけないのかなと思っています。その他はいかがですか。よろしいですか。

本日、総合計画はどういったものか、それから審議会の役割、それから、スケジュールについて説明を受けました。後半は計画の検証の資料の説明をいた

だいたところでは。第1回目ですので、どちらかという顔合わせであったり、基本的な説明が多かったかと思ひます。今後年度が替わりまして、先程あったように市長から諮問いただくことが予定されていて、そのあと夏頃集中的な審議に入っていくわけですがけれども、委員の皆さまそれぞれのお立場から、今後10年というところを考へて、ご発言をいただけたらと思ひています。

また、先程から、人口減少の話があつてですね、2050年の人口推計の話がありましたけれども、これは周南市に限らず、ここ数年、全体的な出生数がかなり落ちていて、数年前に比べてかなり厳しめな推計になっているかと思ひます。コロナのように中々難しい話もありますけれども、施策で変えていける、中々変へるのは難しいですが、変えていける未来、そういったところも考へながら、次回以降、具体的な審議になるかと存じますので、皆さん、どうぞよろしくお願ひします。本日の議題は以上ですが、最後にその他として、事務局から何か連絡事項がありますか。

◇事務局 事務局からの連絡です。
(事務連絡)

○会長 以上で、次第に基づくすべての日程を終了いたしました。本日、藤井市長から委嘱状をいただいたわけですが、まちづくり総合計画は、周南市のまちづくりの基本的な指針であり、市のまちづくりの最上位計画となる重要な計画でございます。審議は、本日からおよそ半年をかけて行うこととなりますが、よりよい計画づくりに向けて、皆さまそれぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただけたらと思ひております。長時間にわたり、たいへんお疲れ様でした。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

7 閉会

◇事務局 ありがとうございます。それでは、以上をもちまして第1回周南市まちづくり総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。